

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成31年4月16日
北アルプス地域振興局

提出区分	実績					
整理番号	6	課題区分	C			
実施機関	北アルプス地域振興局			担当課	林務課	
事業名	北アルプス高標高地における野生鳥獣対策			電話	内線2216(0261-23-6519)	
				E-mail	kitachi-rimmu@pref.nagano.lg.jp	
事業概要	目的 (目指す姿)	北アルプス地域振興局管内の「中部山岳国立公園」・「妙高戸隠連山国立公園」及びその周辺地域(以下「北アルプス高標高地」という。)の野生鳥獣による被害防除対策を検討する。				
	現状と課題	南アルプスではニホンジカの食害により、高山植物に大きな被害が発生している。北アルプス高標高地においても、野生鳥獣の目撃情報が寄せられており、生息数が増えない段階からの対策が必要であるため、早期に生息状況、被害実態を把握し、防除対策を検討する必要がある。				
	内容 (変更後の内容)	<p>○北アルプス高標高地野生鳥獣被害対策検討会議の設置・開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 検討会議の開催(第1回:6月、第2回:3月) 関係機関等の生息・被害の情報共有(情報の集約化) 現地調査箇所の検討 目撃情報の収集方法の検討 <p>○現地調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 目撃情報のあった地域における検討会議メンバーによる被害状況現地調査 シーズン中(7月～9月) 1～2回程度実施 実施後に被害状況を取りまとめ <p>【関係機関等(情報共有組織)】</p> <p>信州大学先鋭領域融合研究群山岳科学研究所、環境省(信越自然環境事務所・中部山岳国立公園管理事務所)、中信森林管理署、県環境保全研究所、関係市村、山小屋事業者等</p>				
	事業期間	平成30年6月		～	平成31年3月	
	成果目標 (成果指標)	検討会議を年2回開催、現地調査をシーズン中に2回程度は実施。関係機関等で野生鳥獣の生息状況、被害実態について定期的な情報の集約化を図る体制を構築する。				
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考		
	北アルプス高標高地野生鳥獣被害対策検討会議	検討会議の開催、現地調査の実施	68,448	報償費・旅費(信州大学教授、山小屋事業者)		
	合計		68,448			
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価	
	<ul style="list-style-type: none"> 検討会議を2回開催した。(6月、3月) 第1回検討会議において、今後の進め方、情報収集体制の構築について検討 第2回検討会議においては、目撃情報の集約・分析、5か年中の長期プランについて、会員の合意を得た。 		<ul style="list-style-type: none"> 情報収集体制の強化策として、山小屋事業者などの民間事業者の協力を得ることができた。 現地調査を2回実施し、食害の状況を確認するとともに、食痕の見分け方などを学習した。 5か年計画中に防除対策をマニュアル化する方向で会員の合意を得た。 		<input type="radio"/> 期待以上 <input checked="" type="radio"/> 期待どおり <input type="radio"/> やや下回る <input type="radio"/> 期待以下	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 目撃情報収集の継続 先進被害地から防除対策を学び、整理し、大規模な食害等が発生した場合の対処法をマニュアル化する。 					